

令和7年度 鯖江市進徳小学校スクールプラン

学校教育目標 自ら学び、自分の良さに気づき、他者を認め、互いに高め合う子の育成

かがやけ進徳っ子 元気いっぱい 夢いっぱい

「にこにこ」 笑顔で生活する子
「わくわく」 自分の成長を楽しむ子
「どんどん」 主体的に挑戦し続ける子
「きらきら」 自分の個性を輝かせる子

【児童の実態】

- ・課題に対して真面目に取り組む子が多い
- ・人懐こくて、素直に自分を表現できる子が多い
- ・自分で考えて物事を進める力の向上を目指す
- ・他者と協働して考えを深める力の向上を目指す

【めざす学校像】

子どもの笑顔が教職員・保護者・地域を笑顔にする学校

【めざす子ども像】

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

自分と他者の良さに気づき
自分も他者も好きになれる子の育成

～自ら学び、共に高め合い、学びを深める子の育成を通して～

【重点項目】

【めざす教師像・研究主題】

共に学び合いながら、自分の考えを深める児童の育成
～言語活動の充実を目指した国語科の授業づくりを通して～

- ・子どもの個性を尊重できる教師
- ・学び続け、挑戦し続ける教師
- ・児童・保護者・地域から信頼される教師
- ・「チーム進徳」として協働する教職員集団

【保護者・地域の願い】

- ・命を大切にし、笑顔で健やかに生活できる子
- ・将来への夢を胸に挑戦し続ける子
- ・人や集団、社会に尽くす高い志をもった子
- ・ふるさとに誇りをもち、ふるさとを愛する子

確かな学力の育成

- ◎楽しくて分かる授業づくり
 - ・研究主任を中心とした研究推進
 - ・学年部会ごとの提案授業の実践
 - ・日常会話や研修による OJT の活性化
 - ・UD 化による分かる授業の実践
 - ・ICT 機器の効果的活用法の開拓と進化
- ◎国語科を中心とした言語活動の充実
 - ・「話す」「聞く」「書く」及び「読む」ことの向上を最重点課題とした授業づくり
- カリキュラムの見直しと工夫
 - ・教科担任制を導入し専門性を生かした授業実践による授業の質の向上の実現
- 主体的な学びと家庭学習の実践力向上
 - ・Qubena を活用した朝学習の実践
- 進徳スタンダードの定着
- 読書活動の推進（朝読書・ハッスルタイム活用）

・授業が分かったと答える児童 90%
・Qubena を自主学習に利用した児童 90%
・人と協力するのは楽しいと答える児童 90%
・ICT 活用による授業改善を行った教員 100%

豊かな心の育成

- ◎居場所があり居心地の良い集団づくり
 - ・道徳や人権教育の充実による、いじめや差別を絶対に許さない環境づくり
 - ・「ありがとう」と「ごめんなさい」が言える伝わる、通じ合う人間関係の構築
 - ・児童の情報交換と共有を毎週実施
 - ・悩みやいじめアンケートを毎月実施
 - ・教育相談を毎学期実施
- 自己肯定感の高揚とレジリエンスの育成
 - ・ポジティブ教育の積極実践と推進
 - ・元気なあいさつの励行と習慣化
- 思いやりと多様性を認め合う心の育成
 - ・縦割り班活動（清掃・行事・集団登校）
 - ・地域人材や施設と連携した活動による多様な他者との交流機会の設定
 - ・委員会活動など主体的な活動の活性化

・学校が楽しいと答える児童 90%
・元気にあいさつができると答える児童 90%
・自分にはいいところがあると答える児童 90%
・居心地の良い集団づくりに努めた教員 100%

健やかでたくましい体の育成

- ◎体力づくり活動の充実と基礎体力の向上
 - ・ハッスルタイム（業間活動）の有効活用
 - ・「めあて」をもった体育学習の実践・回顧
- 運動が好きで運動を楽しめる子の育成
 - ・記録向上や目標達成の喜びを実感させることにより運動が好きの子を育成
- 進徳スマートルールを活用した情報モラルとメディアリテラシーの育成（ITサポーター）
 - ・家庭と連携したノーメディアデーの実施
 - ・SNS 等の正しい使い方の指導
- 学校医や家庭との連携による保健指導
 - ・目の体操を朝活動に位置づけ毎日実施
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化
 - ・歯磨きや正しい姿勢の習慣化
- う歯の治療率、眼科等の受診率の向上
 - ・担任、養護教諭、家庭、学校医の連携

・運動するのは楽しいと答える児童 90%
・早寝・早起き・朝ごはんを守れた児童 90%
・進徳スマートルール守らせた保護者 90%
・う歯の治療率や眼科の受診率 向上

信頼される学校づくり

- ◎あらゆる事案を想定した危機管理の徹底
 - ・危機管理マニュアルの適宜見直し
 - ・避難訓練や防災教育の充実
 - ・世間で起こる事件や事故を自分事として捉え生かすことができる教職員の育成と危機回避能力をもった組織づくり
 - ・PTAや見守り隊等の地域ボランティア、公民館や児童館、民生委員との連携
- ふるさと教育・ふるさと学習の充実
 - ・地域人材や学校ボランティアの活用
 - ・伝統文化継承への関心の高揚
 - ・地域行事の情報提供と参加の推奨
- H&S運用の定着化とホームページ等を活用することによる積極的な情報発信
- 保幼小中連携によるスムーズな接続
 - ・1人1人の情報シートの作成・継承・活用

・ふるさと鯖江が好きで大切に思う児童 90%
・地域の行事に参加した児童 70%
・学校の様子が伝わったと答える保護者 90%
・危機回避や危機管理に努めた教職員 100%

【業務改善への取り組み】

- カリキュラムの工夫（道徳・学級指導を中心としたチーム担任制、可能な範囲での教科担任制）
- 業務や情報共有の効率化（タブレット・ICT活用＝c4th、H&S、teams、ロイロノートなど）
- 学校行事の見直し（精選・日程変更・内容工夫・練習時間削減）
- 校務分掌の再編（協働・チーム対応・人材育成）
- 会議の精選・合理化
- ペーパーレス化の推進（ICT・H&S活用）